



YASKAWA

株主のみなさまへ

第87期中間報告書

平成14年3月21日～平成14年9月20日



機械と人間の共生へ - Quality & Beauty

株式会社 安川電機



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第87期上半期(平成14年3月21日から平成14年9月20日まで)の業績について、概要をご報告申し上げます。

当上半期のわが国経済は、輸出の増加により部分的に回復傾向が見られましたが、IT(情報技術)関連需要が引き続き低迷したことや世界的な株価下落の影響を受け、設備投資や個人消費は低水準で推移いたしました。景気の回復は、速度の鈍化が顕著となっており、依然として厳しい状況が続いています。

このような経済環境の下、当社は、今年度を中期経営計画“Win21”の仕上げの年として4つの構造改革を進めてまいりました。

まず、事業構造改革につきましては、当初ねらいとしていた主要な項目をほぼ完了した中で、モーションコントロールSBU(戦略的事業単位)強化のため、昨年設置したソリューションセンタを核に、お客様の視点に立った問題解決の提案や、コールセンタ機能の拡充を通して受注の拡大に努めてまいりました。

企業構造改革につきましては、事業単位をモーションコントロール、ロボティクスオートメーション、システムエンジニアリングの3つのSBUに集約し、スピーディーで効率的な事業運営を実現するとともに、事業所の統合等も行ってきました。

経営構造改革につきましては、すでに導入した成果主義に基づく人事制度やCS(お客様満足度)向上を基軸にした経営の定着を図るとともに、これらをグループ全体に広げてまいりました。

財務構造の改善につきましては、ERP(統合業務システム)およびSCM(サプライチェーン・マネジメントシステム)の導入により、リードタイムの短縮を進めてまいりました。また、全社集中購買および調達先の絞り込みによるコストの削減や海外生産等により、過去最高の原価低減を達成するとともに、抜本的なコスト構造の改革に注力してまいりました。

当上半期の業績につきましては、受注高は最悪期を脱し、前年同期比4.9%増の610億6千1百万円となりましたが、売上高は前年度下期の受注減の影響により、前年同期比8.7%減の524億2千7百万円となりました。また、損益面では、経費の削減に努めましたものの、経常損失32億5千8百万円、中間純損失45億4千万円となりました。

今後の見通しにつきましては、米国および欧州経済の景気回復の遅れや、不安定な国際情勢等により、本格的な景気回復が見込めない中、経営環境は依然として厳しい状況で推移するものと考えておりますが、半導体業界での新たな設備投資の動きも見え始めております。

このような状況下、当社といたしましては、中期経営計画“Win21”に掲げた4つの構造改革を仕上げ、高収益企業体質への転換を図ってまいり所存です。

特に、より一層の原価低減および資産の圧縮等を図り、財務構造を改善し、収益性の大幅な改善に努めてまいります。

とりわけ、抜本的コスト構造改革の一環として、グローバルレベルでの激しいコスト競争に対応するため、中国での生産を増強するとともに、モーションコントロール事業分野において、新しく生産専門会社を設立いたしました。この会社へ生産委託することにより、生産コストの低減および固定費の変動費化を図り、生産効率を抜本的に改善してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

取締役社長

中山 真

モーションコントロール部門

当部門では、一般産業向けの汎用インバータは、主に中国および欧州向けの輸出が好調となり回復いたしました。また、前年度下期に大きく落ち込んだACサーボも回復傾向にあります。この結果、部門全体では、受注高は前年同期比4.7%増の240億9千8百万円となりましたが、売上高は前年度下期の受注減の影響を受け、前年同期比7.4%減の231億3千4百万円となりました。

ロボティクスオートメーション部門

当部門では、自動車関連向けおよび液晶製造装置向けは、新分野の開拓や大口受注の獲得等により、好調に推移いたしました。半導体製造装置用クリーン・真空ロボットについても、低調であった前年度からは回復いたしました。その結果、部門全体では、受注高は前年同期比13.1%増の240億9千2百万円、売上高は昨年の受注減の影響を受け、前年同期比10.7%減の202億6千7百万円となりました。

システムエンジニアリング部門

当部門では、主力の鉄鋼・上下水道用電機システムの減少傾向を補うべく、システムソリューションなどの新事業を拡大してきましたが、全体的には若干の減少となり、受注高は前年同期比7.5%減の128億7千万円、売上高も前年同期比7.6%減の90億2千5百万円となりました。

機械を直接駆動することで、機械の小形化、高トルク化、高性能化を実現する「ダイレクトドライブΣシリーズ」は、2001年に発売以来ご好評いただいております。今回さらに小容量3機種、大容量8機種をラインアップに加え、拡販を強化します。



アーク溶接ロボットのパイオニアとして、美しい仕上がりとし使いやすいを追求し続ける安川電機は、フルデジタル溶接電源の開発に取り組み、新アーク溶接ロボットパッケージ“MOTOPAC-WEシリーズ”を販売開始しました。軟鋼やステンレス、アルミニウム材質の薄板から厚板まで、アナログ制御では得られなかった安定した溶接品質により、更なるシェアアップを図ります。



クリーンエネルギー分野へ進出

地球環境問題への取り組みとして、クリーンエネルギー源である太陽光発電や風力発電、ミニ水力発電が普及しつつあります。安川電機は、設置が容易な100kW未満の小形発電に着目し、風車などの駆動源に取付ける「小容量独立型の高效率発電装置」を開発しました。試作第1号機が、早稲田大学理工学総合研究センター九州研究所内にある風車に設置され、実環境での検証を開始しています。



- 左：試作第1号機が採用された「ダリウス・サボニウス併結型風車」(株)イーアンドイー製
- 右：回転エネルギーを受けて電力に変換する「発電機」と発電された電力を制御する「電力制御装置」

スポット溶接ロボットの受注好調

昨年11月に販売開始したスポット溶接ロボット「MOTOMAN-ES165」が高く評価され、マレーシアの自動車メーカー「プロトン」から大口受注をいただきました。この受注を機に、インドネシア、ベトナムなども含めた東南アジア全域をカバーする営業・サービス体制の強化を図り、2005年には東南アジアでのロボット受注台数を約5倍に拡大することを目指します。



中間単独貸借対照表(平成14年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	92,926	流動負債	91,620
現金及び預金	9,055	支払手形	2,517
受取手形	8,495	買掛金	25,583
売掛金	28,989	短期借入金	48,201
有価証券	115	未払法人税等	47
たな卸資産	29,893	未払費用	7,370
その他	13,505	その他	7,899
繰延税金資産	2,891		
貸倒引当金	19	固定負債	54,317
		社債	10,000
固定資産	78,414	転換社債	15,000
有形固定資産	27,889	長期借入金	11,733
無形固定資産	5,733	退職給付引当金	17,583
投資その他の資産	35,006		
繰延税金資産	10,847		
貸倒引当金	1,062	負債合計	145,937
		資本の部	
		資本金	15,540
		資本準備金	14,749
		利益準備金	2,732
		欠損金	8,694
		任意積立金	5,214
		中間未処理損失 (うち中間純損失)	13,909 (4,540)
		評価差額金	1,092
		自己株式	18
		資本合計	25,402
資産合計	171,340	負債及び資本合計	171,340

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

中間単独損益計算書

(単位：百万円)

自平成14年3月21日 至平成14年9月20日

経常損益の部	
営業損益	
売上高	52,427
売上原価	43,077
販売費及び一般管理費	13,830
営業損失	4,480
営業外損益	
営業外収益	1,966
受取利息・配当金	1,540
雑収益	426
営業外費用	744
支払利息	593
雑損失	151
経常損失	3,258
特別損益の部	
特別利益	420
特別損失	4,239
税引前中間純損失	7,077
法人税・住民税及び事業税	63
法人税等調整額	2,599
中間純損失	4,540
前期繰越損失	9,368
中間未処理損失	13,909

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

中間連結貸借対照表(平成14年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	145,945	流動負債	134,126
現金及び預金	17,264	支払手形及び買掛金	39,480
受取手形及び売掛金	57,838	短期借入金	65,227
たな卸資産	56,132	その他流動負債	29,418
その他流動資産	15,103	固定負債	67,198
貸倒引当金	393	負債合計	201,325
固定資産	85,683	少数株主持分	
有形固定資産	40,863	少数株主持分	2,988
無形固定資産	12,472	資本の部	
投資その他の資産	32,739	資本金	15,540
貸倒引当金	391	資本準備金	14,749
		欠損金	4,626
		その他有価証券評価差額金	1,079
		為替換算調整勘定	589
		自己株式	18
		資本合計	27,314
資産合計	231,628	負債、少数株主持分及び資本合計	231,628

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成14年3月21日 至平成14年9月20日	
売上高	97,920
営業費用	100,811
営業損失	2,891
営業外収益	700
営業外費用	2,192
経常損失	4,383
特別利益	439
特別損失	4,317
税金等調整前中間純損失	8,262
法人税・住民税及び事業税	1,393
法人税等調整額	2,776
少数株主損失	28
中間純損失	6,850

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

取締役会長	永次	廣
取締役社長	中山	眞
取締役副社長	齊田伸	雄
専務取締役	濱田淳	一
専務取締役	利島康	司
常務取締役	浜本浩	志
常務取締役	田中	健
取締役	石川敬	一
取締役	松本健	一
取締役	羽鳥正	一
取締役	武井紘	一
取締役	鬼頭正	雄
取締役	濱田兼	幸
取締役	沢俊	裕
取締役	岩田定	廣
常任監査役(常勤)	中村	功
常任監査役(常勤)	野口	宰
監査役	木原誠	一郎
監査役	谷正	明

株式の状況(平成14年9月20日現在)

会社が発行する株式の総数	560,000 千株
発行済株式総数	232,059 千株
株主数	25,522 名
主要大株主	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,377 千株
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	11,190 千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,776 千株
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株
明治生命保険相互会社	7,765 千株
株式会社UFJ銀行	6,470 千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,163 千株
日本生命保険相互会社	4,657 千株

商号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 3,156名

主要製品 【モーションコントロール】

ACサーボモータ・制御装置、汎用インバータ、工作機械用AC主軸モータ・制御装置、リニアモータ・制御装置、DCサーボモータ・制御装置、高速モータ、小形精密モータ、複合モータ、省エネモータ・インバータ、高周波インバータ、プログラマブルコントローラ、マシンコントローラ、NCシステム、ビジョンシステム、その他

【ロボティクスオートメーション】

アーク溶接ロボット、スポット溶接ロボット、塗装ロボット、ハンドリングロボット、半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット、特殊アクチュエータ、クリーン・真空内搬送システム、ロボット応用FAシステム、医療・福祉サービスロボット、その他

【システムエンジニアリング】

鉄鋼プラント用電機システム、上下水道用電気計装システム、道路設備電源システム、環境プラント用電機システム、エレベータ制御システム、パワーメカトロシステム、港湾荷役用クレーン制御システム、紙・フィルム・液晶等可変速ドライブシステム、システム情報制御機器、中容量高圧インバータ、高圧開閉装置、コントロールセンタ、システム用制御盤、電力用配電機器、永久磁石内蔵形回転機、中大形誘導電動機、中形発電機および発電装置、その他産業用回転機、その他

事業所 本社 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 〒806-0004
電話 093)645-8801

東京支社 東京都港区海岸一丁目16番1号 〒105-6891
電話 03)5402-4511

名古屋支店 名古屋市市中村区名駅三丁目25番9号 〒450-0002
電話 052)581-2761

大阪支店 大阪市北区堂島二丁目4番27号 〒530-0003
電話 06)6346-4500

中国支店 広島市南区西荒神町1番8号 〒732-0806
電話 082)568-8191

九州支店 福岡市中央区天神四丁目1番1号 〒810-0001
電話 092)714-5331

工場 八幡・小倉・行橋・入間

営業所 札幌・青森・盛岡・東北(仙台市)・郡山・新潟・長野・山梨(甲府市)・横浜・八王子・豊田・京滋(京都市)・北陸(金沢市)・神戸・四国(松山市)・岡山・広島・北九州

海外拠点 シカゴ・ロサンゼルス・デイトン・ポートランド・フリーモント(米国)・サンパウロ・ロンドン・グラスゴー・フランクフルト・ミュンヘン・トーサス(スウェーデン)・北京・上海・香港・ソウル・シンガポール・台北・クアラルンプール・バンコク・テルアビブ

株主メモ

決算期	3月20日
定時株主総会	6月
基準日	3月20日 そのほかあらかじめ公告して定める日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋・福岡
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081
(郵便物送付先)	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話(03)5683-5111
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 各支店 野村證券株式会社 本店・各支店

(ホームページのご案内)

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供しております。

<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479(本店証券代行部)
0120-68-4479(大阪支店証券代行部)) 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

表紙写真：「MOTOMAN-CSL600」は、クリーンルーム内ハンドリングロボット“CSシリーズ”に仲間入りした小形ガラス基板搬送ロボットです。今後一層の生産増加が予測されるモバイル機器や小型テレビなどのディスプレイ製造工程で、クラス最高の動作速度を生かし、生産性向上に貢献します。